

美しいキモノ

婦人画報の

きものモード
発信!

冬

Utukushii
KIMONO
No.262
2017 Winter

訪問着や小紋で楽しむ
年末年始のお出掛けカレンダー

きものを学ぶシリーズ④
世界を魅了した更紗模様

自分のできる
きもののお手入れ

おしゃれ通が夢中です
男のきもの

100柄掲載!



江戸小紋のすべて

別冊付録
歴史から着こなすまで
江戸小紋のすべて

カジュアルを極める
冬のおしゃれの

本命は紬です!



表紙の人 北川景子さん
葵わかなさん
市原隼人さん
柴咲コウさん
鈴木保奈美さん
松嶋菜々子さん
吉田羊さん

大阪 編

豊中・織元

未来へつながる呉服店〈第四回〉

全国各地の元気のある呉服店を訪ねる連載も、四回を数えます。

今回は、大阪府豊中市に店を開いて半世紀、

小誌のきものの提供先としてもお馴染みの「豊中・織元」取材しました。
センスの良い品揃えと真摯な接客に定評があるお店です。

撮影＝高嶋克郎 構成・文＝田中晃

大阪空港、伊丹空港の通称で知られる関西3空港のひとつ、大阪国際空港。大阪府豊中市、池田市、兵庫県伊丹市にまたがり、大阪圏の人々の空の足に欠かせません。

写真＝アフロ





2



1



2



3

1・2 歴史ある日本家屋を生かしたディスプレイも魅力 3右の紫地の小紋は武村小平さん作。モダンな風情のきものに、葵などの古典的な黒の染め帯で存在感のあるきもの姿に。左は白地に、横段に金彩で古典模様を表した、モダン味のある付けさげ。色紙取りに風景模様などを詰めたクラシカルな袋帯でよそゆきに
4右は鹿児島県の指宿で養蚕をはじめ、すべての工程を手掛ける、上原達也さんの「いぶすき紬」。優しいニュアンスの一枚に、火緞の染め袋帯を。左は有名作家作品で揃えたコーディネート。きものは本郷孝文さんの光沢感のある紬。帯は添田敏子さんの獨創性のある染め帯。きもの通らしい、趣味性の高い取り合わせ



Profile

にしむね・こうじ◎「豊中・織元」社長。昭和42年生大阪府生まれ。大学卒業後、建設会社勤務を経て「織元」入社。2009年より代表取締役役に。趣味はスポーツ観戦、古書店巡り、茶道。お祖父様の袖を仕立て直したきものに、後染めのタッサーシルクの羽織をお召しに。学生時代からフットボールを続けているという立派な体格に、濃色の装いがよくお似合いです

社長が語るお店のポリシー

お客様のもつとも篤実な
衣装係でありたいと考えています

西宗恒治さん

きものに深いこだわりのある
お客様の要望に応じて半世紀

私共の店は来年、創業五十年を迎えます。先代から変わらない姿勢は「お客様のもつとも篤実な衣装係でありたい」ということ。お客様が「こんなお店があったら嬉

物が特
帯メ。指
なジナ
足のも
オリぞ
も購
通販
きま
す



しい、楽しい。また行つてみたくなる」という店作りに対する思いを入社以来、常に自分に問いかけてきました。

日々感じるのはきものの素晴らしさ。それは形が変わらないということ。つまり完成された美しさだからでしょう。形が変わらないから、お客様も色や柄、素材へのこだわりが強くなります。そうした点は本当に興味がありません。私も「面白い」と思えることで仕事をさせていただけにこんなありがたいことはありません。本当に毎日が感謝です。

きものの精神的なつながり。
そうした面での提案も大切

衣服としての機能とかファッション性とは少し違う、きものもつもうひとつの魅力は命の重なりを感じる幸福感です。

お客様やお祖母様がお召しになられた

きものを自分が着てみたいと、お持ちになるお客様が多くいらっしゃいます。私自身は、きものには縁遠いサラリーマンの家庭に育ちましたが、今は祖父が着ていた古い袖を足らないところは継ぎながら仕立て直して着ています。うまく言えませんがなにか大きなものに包まれているという安心感や、古いきものを着ることで自分のルーツと向き合える気がします。ですからお客様に対しても新作をお勧めするだけでなく、古いきものをどのようにして素敵に着こなせるか、サイズの全く違うお孫さんにどうしたら着せてあげられるか、など手持ちのきものの活用方法を丁寧に提案しています。こうした精神は、次世代のお客様にもお伝えしていきたいと思っています。

店を代表する立場としては、お客様はもちろん、店のスタッフ、そしていつも無理難題をお願いしている作り手、縫い手の皆さんにも、きものそばに居ることにこのうえない幸せを感じてもらえるよう努力しています。



右は黄八丈に織りなごや帯の若女将・西宗珠紀さん。左は結城紬に、寛文菊の染めなごや帯の女将・小俣淑子さん

人生行事は「豊中・織元」で



店から数分のところには写真スタジオが。一生に一度の、人生行事の晴姿を撮影。左は同社専務で、プロカメラマンの久保田一雄さん。思い出に残るきもの姿を



二十歳の記念に撮影した中尾文香さん。「織元」さんの豪華絢爛な振袖を着るのが楽しみで成人式が待ち遠しかったです」と中尾さん



お姉さんの徳永みはる(左)ちゃんと、妹のみづほ(右)ちゃんは七五三で。妹を気遣うお姉ちゃん。2人の愛らしい様子をパチリ!

昨年完成した記念館では
文化教室をはじめイベントが充実



1 イベントなどが開催されるのは、大女将の夫で著名な芸術家、故・小俣英之助さんの記念館。店から3分ほどの新しい日本家屋です 2 大女将は大正～昭和初期の結城紬のコレクター。記念館で展覧会が行われることも 3 日本舞踊の教室より。右は西崎流分家家元、西崎史津香さん。左は高弟の西崎史鈴衣さん 4 楽しい雰囲気で行われる着つけ教室も大人気。奥の講師は寺師こいとさん 5 記念館の茶室にて。武者小路千家の社中である西宗社長が、自らお客様にお点前を。今後も和文文化のお稽古や教室を、さらに増やしていく予定だそうです



豊中・織元
大阪府豊中市本町4-1-8 ☎06-6849-5298
⑩10時～18時30分 ⑪水曜・お盆・年末年始
<http://www.orimoto-t.co.jp/>
上記、本店のほかには池田店もあり
豊中・織元 池田店 ☎072-754-2152

お客様を迎える「豊中・織元」のスタッフ



1 着つけ師でもある販売担当の北川現世さん。
2 スタッフの皆さん。前列右より、谷澤由香さん、小林郁子さん、木村邦子さん。後列右より、松榮美代子さん、佐野夏子さん、江本茂登子さん

素敵なお客様の装い拝見

「豊中・織元」のお客様にきもの姿でお集まりいただきました。皆さんセンスあふれる、こだわりのきものおしゃれを楽しまれました。



1 淡いピンクをほかし染めた付けさげに、菊模様の袋帯を主役にした唐澤満知子さん 2 水色地に百花を詰めた扇模様の付けさげ小紋に、龍村美術織物の袋帯のお嬢様 3 淡いベージュ地に、家紋をアレンジした模様を散らした付けさげに古典柄の袋帯を合わせ、メリハリを利かせた装いのお客様 4 クリーム地に青紫をほかし、桜や橘を配した華やかな訪問着に、襟に菊唐草の袋帯の佐保山芽美さん 5 グレー濃淡の畝斗目を変り織りで表した洗練されたきもの澤田和子さんは、濃地に草花を詰めた扇面を配した羽織姿でしっかりと 6 鮮やかな黄色に草花をたっぷり配した故・知念貞男さんの紅型に、濃地の帯で装いを引き締めた石川 愛さん。大きな帯留がアクセントに 7 個性あふれる紬地の訪問着をお召しの中川美代子さん。きものテイストに揃えて、更紗の織り帯を合わせたコーディネートはさすがです 8 着慣れた風情が漂う神山美知子さん。樋口隆司さんのグレー系の小千谷紬に、紫地に挿絞りで柄を表した染め帯を

「豊中・織元」がお勧めする店近くの素敵なスポット

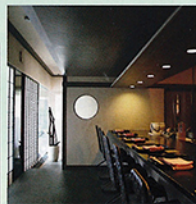
来店したらぜひ立ち寄りしたい、スタッフいち押し、近くの店厳選2軒を教えてくださいました。

チーズケーキショップヒキタ



フランスチーズ鑑評騎士、元田恒朗さんがプロデュースするチーズケーキショップ。ペイクドからレアタイプまで幅広い商品が揃います。
 ④豊中市本町4-1-24 イズミ豊中本町ビル1F
 ☎06-6853-8877 ⑧11時～20時 ⑨月曜

とよなか桜会(さくらえ)



ミシュラン二つ星を獲得した、モダンな本格日本料理が堪能できる「とよなか桜会」。落ち着いた店内で目にも美しい、口福のひと時を。
 ④豊中市桜の町7-10-7 オスカビル2F ⑧11時30分～14時、17時30分～23時 ☎06-6845-3987(要予約) ⑨月曜